

平成30年度第2回新発田市子ども・子育て会議 会議録 [概略]

会 議 名	平成30年度第2回新発田市子ども・子育て会議
開 催 日 時	平成31年2月20日（水）午前9時30分～11時10分
開 催 場 所	新発田市役所5階 501会議室
議 事	<p>1. 平成31年度新発田市子ども・子育て支援事業計画「第4章施策の展開」（案）、平成31年度新発田市子ども・子育て支援事業計画「第5章幼児期の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業」（案）について</p> <p>2. ニーズ調査の結果速報について</p> <p>3. その他</p>
出 席 者	<p>【委員】 金山会長、木村副会長、松田委員、吉井委員、斎藤委員、加藤委員、平野委員、藤田委員、田村委員、青木委員、中山委員</p> <p>【説明課】 （健康推進課）阿部課長、（学校教育課）萩野課長、（地域安全課）増子課長補佐、（人権啓発課）古田課長補佐、（社会福祉課）榎本課長補佐</p> <p>【事務局】 （こども課）櫻井課長、佐藤課長補佐、高山課長補佐、鈴木副参事、吉田係長、石倉主任</p> <p>【オブザーバー】 委託事業者</p>
欠 席 者	駒澤委員、大堀委員、佐藤委員、神田委員、皆川委員、小林委員
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
配布資料	<p>①平成30年度第2回新発田市子ども・子育て会議次第</p> <p>②新発田市子ども・子育て会議委員名簿</p> <p>③新発田市子ども・子育て会議席次表</p> <p>④議題（1）平成31年度新発田市子ども・子育て支援事業計画「第4章施策の展開」（案）について（資料1）</p> <p>⑤新発田市子ども・子育て支援事業計画「第5章幼児期の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業」（資料2）</p> <p>⑥平成31年度における教育・保育の量の見込みについて（資料3）</p> <p>⑥議題（2）新発田市子ども・子育てに関するニーズ調査結果報告書（資料4）</p>
〈会議経過〉	開会

議事1 平成31年度新発田市子ども・子育て支援事業計画「第4章施策の展開」・ 「第5章幼児期の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業」(案)・について	
各説明課	議事1について各課説明
平野委員	ファミリーサポートの提供会員をしているが、障がい児受け入れがかなり多くなっている。現在、私は4名と関わっているが、かなり自分自身で勉強して対応している。皆さんは専門的な分野の方々が関わっているようだが、ファミリーサポートの提供会員は、専門分野の方が、ほとんどいない状況なので、こども課で、障がい児と関わる提供会員のための講習会や勉強会を計画してもらいたい。
こども課	年々、依頼件数が多くなっている。一人ひとり病気を持っていて、私自身も発作を起こされて、どう対応してよいか分からない時もあった。検討していただきたい。
青木委員	こういった貴重なご意見をいただくと来年度の計画に反映させることができ本当に有り難い。ファミリーサポートセンターの講座を、年1・2回開催している。これまで、「お子さんをどう安全にお預かりしていけばいいか」という内容の講座であったが、今ほどのお話のとおり、障がいを持ったお子さんの受入れが増えているので、来年度に向け、講座の内容について検討したい。本当にありがとうございました。
斎藤委員	福祉サービスの利用だけでは足りない部分があり、ファミリーサポートや社協の事業を利用し、本当に助かっている。実際に提供会員の方にどこまでお願いしてよいのかと思っていた。障がい児についての講座については、有難いお話だと思う。
地域安全課	去年10、11月頃に、市防災担当からハザードマップに基づいて、避難計画書の作成依頼があり、分厚い資料を見ながら、どのように避難するか、どんな情報を得るかなど、多くの項目について細かく記載した計画書を提出した。 この計画は何のための計画で、何のために作成させたのか、というのが1つ。 もう1つは、この計画に基づいて、市防災課と協力して、実際の避難について計画をすることがあるのか、色々な介護施設や保育園が対象のようだが、ただ計画を出して終わりなのか。 幼稚園・こども園では、毎月、火災・水害・地震などを想定して避難訓練を行っている。実際、指定された避難計画場所に行くときに、避難経路の詳細までは検討していない。これから何かあるか分からないので、前もって市の方で避難経路などを決めてもらうと良いと思う。 今回の避難計画は、法に基づいて浸水の可能性のある所について作成をお願いしたもの。 基本的に避難という部分で、行政が直接、避難を指示するのは難しい。 そのため自助という考え方で、「自分たちがどのように避難するのか、どれ位の雨が降って、どれ位浸水する可能性があるのであれば、どういった避難をするのか」などまず、自分たちで考えていただき、計画を立てていただきたい。というのが今回の動きである。 地域の自主防災で避難訓練などがあれば、一緒に避難いただくのも良いと思う。 また、市は最短距離など大まかな避難経路は作っているが、地域事情の分かる方に聞くと、「あそこは雨が降るとすぐ水が上がる」などの地域事情がある。一概に市が地域事情を知らずに避難経路を示した場合、二次被害に合う恐れもあることから、周辺地域を良く知る方々で訓練したり、地域をわかる方々で計画を作ってくださいということが重要になる。 その中で、「ハザードマップ上の想定で、実際にどれ位の水位になるのか」などのご質問等が

	<p>あれば、私共でお答えしたい。今回の動きの部分は、そのような思いで指導をさせてもらっている。</p>
青木委員	<p>酸素や喀痰吸引など医療的ケアが必要なお子さんについて、「大災害時に、本当に緊急の人達が電源を利用するため、医療的ケアの必要なお子さんの電源確保にどこまで協力できるのか」という話が村上で出ている。</p>
地域安全課	<p>大きい病院では、大災害があれば救急の人達が集まるため、医療的ケアの必要なお子さんのために「どこに電源があるのか」きちんと調べる必要がある、との話が村上であった。</p> <p>新発田市では電源マップはあるのか。</p> <p>市では、防災時における、いわゆる緊急電源マップは用意をしていない。</p> <p>自主防災組織では、災害時の対応方法や、地域によっては非常電源を持っているところもあるので、自分のお住いのところに相談していただきたい。</p>
青木委員	<p>また、福祉施設等であれば、施設で電源を用意していただきたいと思う。</p> <p>その子に合わせて、自助が最初になって考えていくようになると思うが、「一緒に考えてくれる人が必要、電源マップがあるといいね」という話がありましたので聞いてみました。</p>
金山会長	<p>村上ではマップを作るのか。</p>
青木委員	<p>まずは場所の確認をしてみようか、という話になっている。酸素をつけて動ける子がいるので、電池だと1時間半とか1時間しか持たない、北海道の問題などがあり、気になり、質問した。</p>
松田委員	<p>1月に新潟県県警から「ながら見守り隊」のステッカーの配布があった。ダンプ協会やタクシー協会に配布されたもので、社用車に「子どもたちを 地域を見守りましょう」というステッカーを貼って、夕方とか帰りに仕事をしながら犯罪抑止の一助となっている。</p> <p>是非、市役所等のホームページや学校に周知していただければ、ただやっているより効果があると思うので、周知・お知らせをしていただきたいと思う。</p>
地域安全課	<p>見守り大変ありがとうございます。いわゆる「ながら見守り隊」は県からの依頼であったと思いますので、県の方と話をしたいと思う。</p> <p>現在、猿橋の方で事件があり、市としても青色回転灯の付いた公用車で市内に出る場合には巡廻をお願いしている、また、地区の防犯組織にも依頼し、猿橋小学校のお子さんたちが通学する際、またお帰りの際に、子どもたち、保護者と一緒になって見守り活動を行っている、パトカーも大分台数が出て回っている。私共も最近ずっと当該地区に行ってみ回っているがその際、結構、ステッカーを貼っている車が見受けられた。是非、県の方に調整してみるとともに、防犯協会の方に話をしておきたいと思う。どうもありがとうございます。</p>
事務局	<p>資料2、資料3について説明</p>
吉井委員	<p>保育園の代表として質問します。約50人の定員不足が生じる予定だとのことであるが、エンジェルキッズの3歳以上児で、どの位の規模を見込んでいるか。</p>
事務局	<p>エンジェルキッズ陽だまり園からは、具体的な人数は伺っていないが、様々な調整の中で、今、現状0・1・2歳児の受け入れをお願いしているところであるが、その人数が3歳児、4歳児、5歳児と上がっていったときに十分に対応できるような、その様な施設の予定であると今の段階では伺っている。</p>

吉井委員	新発田市も、この4年で100名以上減っていることになっている。ですから、あまり規模が大きくなると、近隣の園も影響を受けることになるので、その辺も十分考慮して頂きたい、この場を借りてお願いします。
金山会長	「平成31年度新発田市子ども・子育て支援事業計画「第4章施策の展開」(案)と「第5章幼児期の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業」(案)について」ご了承される方は挙手をお願いします。 全員の挙手であり、「平成31年度新発田市子ども・子育て支援事業計画「第4章施策の展開」(案)と第5章幼児期の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業」(案)について」は原案どおり承認された。 今ほど出された意見は、ぜひ今後の事業に反映していただきたい。
議事2 ニーズ調査の結果について	
金山会長	次に、「次第3」の議題(2)「ニーズ調査について」担当から説明をお願いします。
こども課	議事2について説明
平野委員 事務局	各項目に無回答がかなりあるが、調査票を返した方々だけの無回答のパーセントなのか。調査票の提出を頂いた中の無回答である。 調査項目を絞ると回答する時間が少なくなり、無回答も減ると思うが、今回は、項目をたくさん盛り込んでしまったことが影響していると思われる。調査票について、次回調査の際には無回答が少なくなるような検討をする必要があると考える。
金山会長	「ニーズ調査の結果について」ご了承される方は挙手を願います。 出席委員の過半数以上の挙手でありましたので、「ニーズ調査の結果について」は原案どおり承認された。
議事3 その他	
事務局	来年度の子ども・子育て会議の予定です。来年度、第2期子ども・子育て支援事業計画の策定年度となっている。このため例年2回会議を開催しているところであるが、計画策定のために次年度は、会議を3回と書面決議1回の計4回予定している。第1回目は7月を予定しているので、ご出席いただくようお願いします。
その他	
事務局	本日の会議録について、事務局で案を作成し、出席者に確認作業をお願いし、その後、市のホームページに掲載するという流れで、前回通り行いたい。ご協力をお願いします。
閉会	